



— 会社は何のためにあるのか —

今、改めて「経営哲学」を問う

特集



現代のビジネス環境は、目まぐるしく変化する社会情勢、予測不能なリスク、そして価値観の多様化といった不確実性に満たされています。そのため、経営者は、かつてないほど複雑な課題に直面しています。このような時代だからこそ、私たちは改めて「経営哲学」という根源的な問いに向き合う必要があるのではないのでしょうか。企業の存在理由は、単に利益を追求することだけではありません。社会における役割、従業員の幸福、そして未来への責任。これらの要素を包括的に捉え、持続可能な成長を目指すための羅針盤、それが「経営哲学」です。

本特集では、現代に求められる経営哲学を探求するため、競争力・経営力に秀でた中堅企業の特徴や時代を超えて輝き続ける先人たちの思想から考察を深めます。本特集を通じて、読者の皆さまが経営について、新たな気づきや考えるきっかけを得ていただければ幸いです。

● 01 「志」を強みにする経営

磯邊 剛彦

● 02 松下幸之助の経営哲学
～社会的使命が稼ぐ力に～

川上 恒雄

● 03 稲盛和夫氏の企業観

青山 敦